

<p>△区域メッセージ第 6 週 金土日時代のタラントの発見と永遠の答え (Ⅱ テモ 3:14-17)</p>	<p>△聖日 1 部 教会史最大の事件 (使 9:1-15)</p>	<p>△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 三つの庭を準備した教会 (使 11:19-30)</p>
<p>□序論 金土日時代に発見するタラントは永遠の答えとつながる。レムナントには、金土日時代が集中という時刻表だ。7・7・7 やぐらと旅程、道しるべは、私たちがすぐに行くことはできない、祈りで味わうようになることだ。すると、絶対ミッションが出て来て、ある日、問題が来るとき、見ることが三つの庭だ。これを持って編集すれば、実際に私のこととして作られる設計、実際に現場と合うデザインが出て来て、世界の門が開かれる。</p> <p>□本論 1. タラント発見-これをしない父親は、事実上、子どもに必要なない。 1) 読書フォーラム-みことば 読書は、本を読んで、行かずに会って、見ることだ。正しく読書フォーラムすれば、答えはみことばから出る。 2) 偉人-キリスト (RT) 必ず偉人に関する話をしてフォーラムをして答えはキリストで、RT があなただということだ。 3) 三つの祭り-(集中) ユダヤ人は三つの祭りを守るが、この部分を持って金土日時代のように集中が何かを、理由を知らせるのだ。 4) 主日-礼拝 (祈り) 主日、礼拝が何かを教えて祈りを教えるのだ。背景とその意味を知ってこそ、祈らなくても祈りとなる。 5) タラント-ただのタラントが発見できる。「このために生まれたんだな」ということを知るようになる。 6) 専門性-編集、設計、デザインされる専門性が出て来るが、これが唯一性 7) 世界化-(再創造)世の中が恐ろしくなくて、希望と世界が見えるとき、再創造が出て来る。 2. 霊的サミット-これになったとき、一番最初にすべきことは何だろうか 1) やぐら-プラットフォーム-イエス様がくださったやぐらが私のことになるプラットフォームだ。 2) 旅程-見張り台-この旅程が光を照らす見張り台となる。 3) 道しるべ-アンテナ-道しるべは要所要所にものすごいアンテナだ。 3. 三つの答え 1) 私、私のこと、現場-神様が造られた私、神様が与えられた私のこと、神様が与えられた現場が出て来る。 2) 作品 Heavenly Thronely Eternally -このときから、驚くべき作品が作られ始める。 3) 職業-三つの庭 レムナントの学業が三つの庭になる。イエス様が与えられた、そのとおりに成就する。</p> <p>□結論_ [刻印] 1. 金-癒やし-金曜日には、おもに癒やし側にして、 2. 土-核心-土曜日には、レムナント中心に核心メッセージがなぜあるべきなのかを知って、 3. 日-講壇-聖日には講壇メッセージが重要だということを知りながら講壇が生かされる。 △刻印になってこそ、根、体質が後ほどついてくる。ほとんどの人が自分がどれほど重要かということを知らないと、違うことが見えて、価値がない行動をする。</p>	<p>※信仰点検 1. ユダヤ人が福音を悟れなかった理由は、私が信仰生活をしようとするからだ。 2. 宗教と福音 (信仰生活に、ものすごい差) 1) 神様が呼ばれたことを分らなければ、霊的問題を持っている人を治すことはできない。 2) 神様が私をこの職場になぜ送られたのかを見つけるべき 3) 正しい信仰を持っている人は神様の計画を質問 3. 神様がなぜ私を (この教会に) 呼ばれたのだろうか。なぜこのことを私に任せられたかを質問 □序論_先に覚えるべき三つ 1. 背景-10 の土台 1) 神様が絶対主権の中で呼ばれた 2) 神様の方法-ただキリスト 3) 私たちの力-ただ聖霊 4) 人生略図-ただ聖書 5) 私は神様の神殿 6) 私がいる所が宣教地 7) 私の生活は神様が導かれる 8) 一度だけこの地で生きる 9) 天国と地獄が霊的背景 10) ただ福音を味わって伝えること-報い 2. イエスの約束 1) 福音がみな宣べ伝えられた後に終わりが来る。 2) あらゆる国の人々、すべての民、地の果てに行きなさい。 3) わたしが世の終わりで、いつもあなたがたとともに 3. 強大国が戦争を起こしてわざわいを受けたが、福音を持っている人に負けた理由 1) 人間の全的腐敗 2) 救われる条件がない。 3) それゆえ、キリストを送られた。 4) キリストはだれも止めることはできない。 5) 救われた者は神様が最後まで守られる。 □本論_呼ばれた理由 1. 神様は私を再創造されるために天命、召命、使命の中に呼ばれた 1) ステパノのメッセージを聞いたパウロ 2) ガマリエルの高弟 3) ステパノが死んで当然だと思っていたときに、再創造される答えを受けたパウロ 2. 国と家系の運命を変える使命と呼ばれた器 1) イスラエル子孫のための選びの器 2) キリストで完全に答えを出すと家系と現場に光が放たれ始める 3. 王たちの前に立てて世界を生かすために呼ばれた-レムナント 7 人 □結論 1. 神様が暗闇に陥った者を生かしなさいと証人として呼ばれた。 2. 編集、設計、デザインしなさい。 3. 237-5000 種族を生かすほどの水準に皆さんを立てられる。 ※マコ 3:13-15 お望みの者を呼ばれた-ともに、伝道、権威 ※今日が申 6:4-9、ミツバ運動、ドタンの町運動の時間、神様が私を見張り人として立てられる時間、マルコの屋上の部屋に臨んだその力が私に臨む時間</p>	<p>三つの庭を準備する教会-神殿準備と勉強の基準、小さな献身をする所 使 11:1-18 多くの人が福音を知らない (自分の考え、思いに合わない) 拒否感、試み → 世界福音化できない 使 11:19-30 燭台を移された。 福音を正しく理解すれば、すべてが回復する。 創 12:1-10 あなたの子孫によって国々が祝福、 創 22:1-21 イサクの代わりに雄羊 創 32:23-32 やつと悟ったヤコブ、 創 37:1-11 ヨセフの話を理解できない兄たち 出 3:1-20 イスラエル民族を連れて出て行って血のいけにえを献げなさい 申 6:4-9 福音の力を子どもに刻印させなさい。 1 サム 7:1-15 全焼のささげ物を献げたそのときから、サムエルが生きている間ペリシテが攻め込むことはできなかった。 イザ 62:6-12 バビロンの捕虜の預言-インマヌエルを回復しなさい。光を放ちなさい。もろもろの民を生かす見張り人になりなさい。これが福音の力だ。 カル、オリ、マルで完全に結論を出した 使 9:1-15 この事実を伝える者がいないからパウロを呼ばれた 使 11:19-30 そして、できた教会がアンティオキア教会 イスラエルと異邦人の暗闇を止める人、次世代に渡っていくわざわいを止める教会 □序論_アンティオキア教会 1. 使 11:19 大きい迫害によって散らされた者が集まった、死を担保にして集まった 2. 使 11:23 主の御手がともにあり、主の恵みが見えて 3. 使 11:26 大勢の弟子たちが集まった。 4. 使 11:28-30 世界中に大飢饉が起こったが、アンティオキア教会だけ満ちあふれた。 5. 世界福音化が始まった □本論_散らされた者たち 1. 残りの者の神殿 (教会) を作りなさい。皆さんは福音を持っている残りの者だ。 1) 残る者 (力を備えた者) 2) 残れる者 (暗闇文化を征服する者) 3) 残す者 (次世代を育てる者) 2. 巡礼者の神殿 (教会) を作りなさい。皆さんは暗闇に陥った者を生かす必要ならならぬ巡礼者だ。 1) 使 13:1-4 アジア 2) 使 16:6-10 マケドニア 3) 使 19:21 ローマに行かなければならぬ。 3. 征服者の神殿 (教会) (三つの庭) を作りなさい。暗闇を征服しに行くのだ 1) 医師が治せない癒やしが起こった (使 13、16、19) 2) 異邦人の庭に入り込んだ (異邦人の庭に行く前に確実な神様の導きを受けた。マケドニア行く前に人生のターニングポイントを迎えた。ローマに行く前に、同じマルコの屋上の部屋を体験して、どこまで行かなければならぬのか結論を分かった) 3) 子どもたちの庭-会堂、講堂に行った。 □結論_ 24、25、00 する所がない。皆さんがしなさい。 1. アブラハムに預言されたこと 2. バビロンに行く前にイザヤを通して預言されたこと 3. イエス様が語られた復活メッセージ-成就しないはずがない。</p>